

## 令和3年度 日本原子力学会 北関東支部 講演会 実施報告

開催日時：令和4年2月4日（金）14:00～16:25

開催場所：Zoom ウェビナー

令和2年度の北関東支部講演会を令和4年2月4日（金）にZoom ウェビナーにて開催いたしました。当日は、121名（Zoom 接続数）と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演会のプログラムは以下のとおりです。

### ～ 第Ⅰ部 ～ 脱炭素社会に対する原子炉の役割

- ① 小竹 庄司 氏（日本原子力発電株式会社 開発計画室）  
カーボンニュートラル実現のために～原子力の活用は不可欠

### ～ 第Ⅱ部 ～ 各炉型の取り組み

- ② 土屋 暁之 氏（日立GEニュークリア・エナジー株式会社 原子力計画部）  
カーボンニュートラルに向けた日立GEの新型炉・革新炉開発の取り組みについて
- ③ 西原 哲夫 氏（日本原子力研究開発機構 大洗研究所）  
HTTRの運転再開に向けた取り組みと今後の計画
- ④ 坂本 宜照 氏（量子科学技術研究開発機構 量子エネルギー部門）  
核融合原型炉の研究開発の現状と今後の展望

第Ⅰ部では、小竹氏にカーボンニュートラル実現に向けて、再エネの導入可能性と原子力を含むその他の電源への期待、高速炉の必要性についてご講演いただきました。また、第Ⅱ部では土屋氏に日立GEの新型炉・革新炉について、西原氏にHTTRについて、坂本氏に核融合原型炉についての将来に向けた取り組みについてご講演いただきました。活発な質疑の中、聴講者にとって原子力が果たすべき役割の重要性を改めて考え、研究開発・技術開発の最新の状況を把握する良い機会となりました。

以上